

あなたと…

一人ひとりがその人らしく生きるまちだプラン（第5次町田市男女平等推進計画）策定

コロナ禍とウクライナ戦火と、「男女平等」を考える

（*毎年6月23日～29日までの1週間、「男女共同参画週間」です）

第5次となるこの計画は、「男女平等参画社会の形成に関して市がめざしている方向性や施策を明らかにし、市内で活動するあらゆる市民・事業者等の理解と協力を得るとともに、さらなる参画を期待するものです。また、多様性を認め合い、一人ひとりがその人らしく生きることができる社会の実現をめざし、今後の本市における男女平等参画に関する取り組みを一層充実し、総合的かつ計画的に推進するため」に策定されました。また、計画が策定されたことが6月の町田市議会で報告されました。

2021年度は、コロナ禍での予算削減で、第22回まちだ男女平等フェスティバルをはじめとして、協働事業遂行にあたり、苦しい運営を余儀なくされました。しかし今年度は、市の努力で、「一人ひとりがその人らしく生きるまちだプラン」推進の為に、昨年度減額された予算の復活がはかられ、フェスティバルを始めとする事業の円滑な遂行の礎を確保できたものと考えています。第12期運営委員会（任期2022年5月1日～2024年4月30日）は、登録団体からの積極的な委員の推薦や、活発な市民公募もあり、定員どおりの14名で力強くスタートしました。

コロナ禍とウクライナ戦火と、「男女平等」

コロナ禍は、人の「開発」がもたらした自然破壊の結果、人と未知のウイルスが近接して起こった災い、といえます。被害は弱者（女性・子ども・老人など）の割合が高く、コロナ禍の女性の自殺の増加がそれを示しています。

また「戦争」も「支配」という「暴力」で起こり、その被害はコロナ以上です。ある人が、“ウクライナでの戦争の避難者報道（9割が女性や子ども）”を見て、「男女平等というのなら、『女性・子ども・老人を避難させるだけでなく、男性も避難させる』のが、男女平等ではないか？」と発言しました。皆さんはどう考えますか？



「男女平等」について上野千鶴子さんが、『老いる準備』（p30）の中で次のように述べています。

“フェミニズムは、女にも男にできることは全部できると主張してきた…人たちが一部にはいた。…男のする戦争と言うものに女も参加させよ…それでこそ…男女平等が達成されるというフェミニズムも一部にはある。戦争というものは、…愚行…男女平等を求めるからと言ってなにゆえ愚行まで男のマネをする必要があるのだろうか。…”

「男女平等」を12期の運営委員会でも引き続き考えていきます。

第5次町田市男女平等推進計画の骨子は？

本計画には、従来からの「男女格差の是正」とともに、新たに「多様性の尊重」という視点を加え、35の取り組みで構成されています。

ぜひ、町田市ホームページなどで計画書をご覧ください。

男女共同参画週間（6月23日～29日）

国は、男女共同参画社会基本法の目的及び基本理念の理解を深く国民にすすめるため、「男女共同参画週間」を設け、地方公共団体、女性団体その他の関係団体の協力の下に、各種行事等を全国的に実施します。町田市男女平等推進センターでは時期をずらし、10月に記念講演会を実施予定です。

男女平等推進センターから

募集中

女性と企業のトークカフェ
～イマドキ企業は女性の味方！～in 町田

実施日：2022年6月28日（火）
13時～16時

面接会や説明会ではなく、実際に企業で働いている人とお話ししてみませんか。お話しすることで、自分に合った働き方をイメージしてみましょう。

申込：5月16日（月）から
お電話にて東京しごとセンター多摩
女性しごと応援テラス多摩ランチ
（☎042-529-9003）へ
※保育（1歳～未就学児）を希望の方は
6月20日（月）まで

予告

女性のための就職準備セミナー
かしこく働くための基礎講座

実施日：2022年7月15日（金）
9時30分～正午

今後の就職活動に役立つ情報をお伝えします。また、2022年10月に変わる社会保険制度についてもお伝えします。

申込：6月21日（火）から
①町田市イベントダイヤル
042-724-5656
②イバシス
※保育（1歳～未就学児）を希望の方は
7月1日（金）まで



イバシス



シネマでトーク

センターは沢山の素晴らしい映画を保存しています。鑑賞しその後、楽しく語り合いませんか？ **無料**

再開第1回目は
まちだくらしフェア協賛企画です！

*7月30日（土）13:00～
「おくりびと」（日本）131分
場所：3階視聴覚室

チェロ奏者の職をなくし、田舎に帰り、得た職業は納棺師。戸惑いながらもやがてその仕事の大切さに目覚め、妻も納得。所作の美しさは抜群！第81回アカデミー賞外国賞等々受賞。

*9月13日（火）14:00～
「ひまわり」（イタリア）107分
場所：3階活動室

ウクライナのどこまでも広がるひまわり畑を舞台に、戦争によって離ればなれになってしまう夫婦の姿をソフィア・ローレン、マルチェロ・マストロヤンニが描く。日本の映画館はどこも涙、涙の大盛況！

*10月11日（火）14:00～
「八重子のハミング」（日本）
112分 場所：3階活動室

胃がんを発病、4度のがん手術を受けた夫と若年性アルツハイマー病を発症した妻の絆を、
実話をもとに描く
心温まる作品。



蔵書の紹介

【センターでは、図書の貸出やDVD・ビデオの視聴ができます！】

「女性差別はどう作られてきたか」中村敏子 集英社新書
医科大学での、女性受験生一律減点問題など、現在においても「女性である」ことによる差別は無くならない。

それどころか、日本はジェンダーギャップ指数で、世界の下位にランクされている。何故、女性を不当に差別する社会は生まれてしまったのか？ 西洋と日本、ジェンダーの観点から、家族における夫婦関係に注目し、「家父長制」から、女性抑圧の歴史を、易しく明快な筆致で記した一冊である（w）。

「私がフェミニズムを知らなかった頃」小林エリコ 晶文社
殴る父と耐える母、ハラスメントの横行、エロ情報の氾濫、あからさまな賃金格差。世の中が男女平等だと、1ミリも疑っていなかった。しかし、それは全て間違いであり、それに気づくのに時間がかかった。男女が平等でないと教えてくれたのは、フェミニズムだった。作者は団塊ジュニア世代の女性、即ち、団塊世代の私たちが育てた子どもだ。女の子から、ここまで自尊心を奪い、男の子が、ここまで自己チューにふるまう社会を再生産してしまったのか（w）。

「女性悩みごと相談」 ☎ 042-721-4842

☆女性のための身近な相談室として、電話による相談を受けています。DVやセクハラ、夫婦間問題に関することなど一人で悩まないで相談してみませんか。

相談時間 月・火・木・金・土曜日 9:30～16:00
水曜日 13:00～20:00
（第3水曜日・日・祝日、年末年始はお休みです。）

「法律相談」 予約は「女性悩みごと相談」にて受け付けます。

☆女性弁護士が担当します。

相談日 毎月第2・第4水曜日 14:00～16:00
（祝日・年末年始はお休みです。）

「LGBT相談」 ☎ 042-721-1162

☆性自認・性的指向のこと、人間関係・職場・学校のこと、どんなことでもお気軽にご相談ください。専門相談員が相談に応じます。秘密厳守。

相談時間 毎月第2水曜日 15:00～20:00

